

執筆者  
PE & HR 代表取締役  
**山本 亮二郎** やまもと りょうじろう

**PROFILE** 1968年生まれ。早稲田大学を卒業後、株式会社インテリジェンスに入社。その後、ベンチャーキャピタル株式会社を中心に投資し、リース先企業の成長支援に注力する。取締役を務めた2社がIPOを果たす。退職後に上場した夢の街創造委員会株式会社は、売上のない設立段階に約3億円のバリュエーション(企業価値評価)で投資し、IPO時に223.7億円の時価総額となった。また株式会社インテリジェンス(JASDAQ)とベンチャーキャピタル株式会社(ヘラクレス)には社員株主として出資し、両社とも在職中にIPOを果たす。2003年にPE&HR株式会社を設立し、代表取締役に就任。  
Mail / R.yamamoto@pehr.jp  
URL / http://www.pehr.jp

# 本物の起業家を発掘し、ベンチャー企業の成長を支援する

## 株式会社オンボード『PIXTA』

今回は、当社が投資・成長支援を行っているオンボード社を紹介する。

例えば、写真好きの主婦が、夏休みの家族旅行や子供の成長、あるいは草木や風景を写真に撮ったとする。現在はその写真を家族や親類、友人に見せるだけでなく、インターネット上でより多くの人々に公開することも可能である。実際、写真を日記風にどんどん掲載できる「Flickr」、「Photobucket」、「Zoom」といった巨大な写真共有サイトが存在し、世界中でサービスを提供している。

しかし、もし「閲覧」だけでなく、撮った写真をその場で「販売」できたらどうだろうか？それが実現できるのが、今回ご紹介するオンボード社の「PIXTA(ピクスタ)」というサイトである。「PIXTA」は国内最大規模の写真販売サイトであり、2006年5月のサイト開設以来、既に45万点ものクオリティの高い写真が掲載されている。カメラマンはアマチュア、ハイアマチュアを中心に約1万名が登録。中にはプロのカメラマンも登録している。写真の買い手は、大手出版社や広告代理店、印刷会社、ウェブ制作会社、デザイナーなど、実に多彩である。これは「マイクロストックフォト」と呼ばれる事業領域であり、「PIXTA」では500円から5000円という低価格で写真が販売されている。

「PIXTA」の事業モデル上の優位性は多数あるが、まず写真は「一瞬」で生産できる商品ということである。機材の費用や撮影時間以外、製造原価も限りなくゼロに近い。

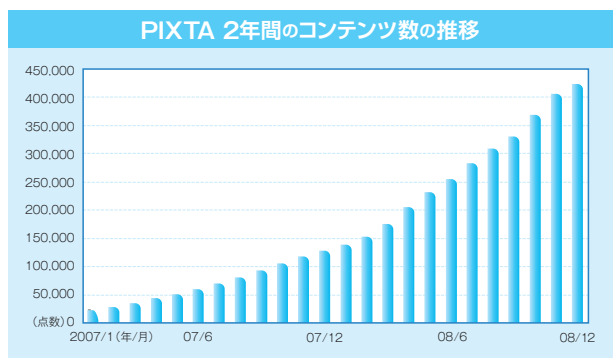
▲ インターネット上で写真の売買ができる「PIXTA(ピクスタ)」

い。また、当然ながら写真は「非言語」の表現手段であるため、国境を越えて流通させることが十分に可能である。さらに、昨今のような経済情勢を背景に、副収入を求める個人は一層増えるだろう。実際に、「PIXTA」では会社員や主婦などアマチュアの人たちが、月に10万円、20万円の売上をあげている(驚くべきことに海外では、インターネットで年間2000万円も写真を販売している人が存在しており、マイクロストックフォトの市場拡大はめざましい)。写真を購入する企業も、従来よりもコストを削減していくことが予想されるので、価格面でも時代環境にマッチしている。こうした点も評価され、楽天、エキサイトも良い提携を結ぶことができた。

インターネットは、より多くの個人/法人と、より多くの個人/法人とを結びつけることに向いており、一つひとつの取引は小さく

とも、その総和が高い収益を実現する。いわゆるロングテールということだが、それは、現時点では必ずしもハイタレントではない(今はまだ完全には才能を世に認められていない)無数の個人/法人の個性や才能の集積だと言い換えることもできる。たくさんの方々のインターネットビジネスを見てみると、ロングテールとは個性や才能の登録門ではないか、と思えてくる。

無数の個性や才能が発揮される場を提供する事業にふさわしい起業家とは、どのような人だろうか。おそらく、控えめではあるが物事に粘り強く取り組む信念を持ち、他者の個性や才能に対して高い尊敬の念を抱く人だろう。そして、呆れるほどの長い年月、人との信頼関係を絶やすことのない人だろう。オンボード代表の古俣さんは、まさにそのような起業家である。



**会社概要**  
(2009年4月よりピクスタ株式会社)  
**株式会社オンボード**  
設立 / 2005年8月25日  
資本金 / 1億2,840万円(資本準備金含む)  
事業内容 / 国内最大のマイクロストックフォトサイト「PIXTA」の運営  
代表者 / 古俣 大介  
URL / http://pixta.jp/  
**PIXTA**  
◆ PIXTAの基本情報  
カメラマン / 約1万人 写真 / 約45万点  
販売価格 / 500円~5,000円(1点当たり)



▲ 株式会社オンボードの経営陣。左から2番目が古俣代表。

**PE&HR ファンドによる出資額**  
2006年5月(「PIXTA」オープン前)の初回投資以降、累計4,530万円

**PE&HRの支援体制**  
社外取締役 / 山本  
ファイナンス / 今西  
事業開発 / 田山、漆原

PE&HR ファンドは、スタートアップ、アーリーステージのベンチャー企業にフォーカスした投資を行っています。ファンド出資者は、政府関連機関、大手銀行グループ、総合商社、上場企業、地銀、インキュベーターです。